

## 講社祭2

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に  
慎んで申し上げます

教典第一章に“世界中の人間は、我が身思案に頼って、  
心の闇路をさまようている。それは元なる親を知らず、  
その心に触れないからである。”と記されていますが 私  
達は早くからお道にお引き寄せ頂いたお陰で なってく  
る一切に親神様の温かい親心が感じられ 日々明るく陽  
気に暮らさせて頂いております

その中にも今日の吉き日はこれの△△△△家の月次祭の  
日柄に当たりますので 日頃の御高恩に感謝し 只今か  
ら一手一つに勇んでたすけづとめを勤めさせて頂きます  
さてお言葉に“誠々々 天然自然の道がつく”とありま  
すが 私達よふぼくに光り輝く信仰があれば 自ら親か  
ら子へ 子から孫へと末代かけて信仰が伝わり 又友人  
から職場へ近隣へと神名が流れてゆき 各よふぼく家庭  
から必ず別席者が生まれてくるものと信じます

その為には先ず私達が ひながたの道の確信たるおつと  
めの充実を期し 同時に混迷の社会の中で 神の理を顕  
揚する親里や上級ふしんに真実の伏せ込みをさせて頂く  
ことであると自覚致しております

どうか親神様には 次の塚である○○分教会の創立○○  
周年を目指して かく誓う一同の真心を充分にお受け取  
り下さいまして 私達の行く手を一層力強くお導き下さ  
いますよう慎んでお願い申し上げます